**令和3年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針**

資料３

施設名：大阪府立母子・父子福祉センター

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **評価項目** | **評価基準** | **評価委員の指摘・提言等** | **改善のための対応方針** | **次年度以降の事業計画等への反映内容** |
| **Ⅰ提案の履行状況に関する項目** | １．施設の設置目的及  び管理運営方針 | 〇Zoomでの相談を受け付けているが実績がないため、様々な手法での周知に努めること。  〇アンケートの母数を増やすための効果的な手法の検討や、単純集計のみで終わらないようアンケート内容の精査を行うこと。 | 〇Zoomでの相談について、効果的な周知方法を検討・実施する。  〇アンケートが効果的なものになるよう、収集方法や内容を、検討・実施する。 | ○ZOOM相談をしやすいよう、ホームページにZOOMの使い方マニュアルを載せ、オンライン相談者を増やす。  ○講習会受講者の受講後３カ月に送付するアンケート回収率が悪いため、講習会最終日に説明後、アンケート協力同意書をとり、それを添えてアンケートを送付する。 |
| ２．平等な利用を図るための具体的手法・効果 | 〇ホームページについては、情報提供等の更新頻度を増やすだけではなく、初見でもわかりやすいものにすること。また、スマートフォンでの閲覧を踏まえて更新を行うこと。 | 〇わかりやすいホームページになるように、定期的に見直しを行う。 | ○求人情報のページを簡素化し、求職者が希望する職種を一目で分かるようにし、応募しやすくする。  ○就業支援講習会の講座案内一覧もスマートフォンでも見やすい構成に変更する。 |
| ３．利用者の増加やサービスの向上を図るための具体的手法・効果 | 〇相談においては、１つのツールだけではなく、様々なツールを組み合わせる等、相談方法の選択肢を増やしていくこと。 | 〇相談者のニーズを踏まえた相談方法を提示しながら、相談しやすい環境づくりを行っていく。 | ○ZOOM相談をしやすいよう、ホームページにZOOMの使い方マニュアルを載せる。 |